

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	物流・産業	26年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 港湾運営企画担当課長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	コンテナターミナル管理運営体制の見直し	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7969
目的	対象(誰・何を)	名古屋港のコンテナターミナル			事業 期間	～平成29年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	管理運営を効率化します。				
概要	名古屋港のコンテナターミナルの管理運営の効率化を図るため、港湾運営会社制度の導入を行い、管理運営体制の見直しを行うとともに、伊勢湾で一つの港湾運営会社による一体的運営に向けた検討を行います。				根拠 法令等	港湾法、会社法
27年度の実施予定	四日市港の特例港湾運営会社と名古屋港の特例港湾運営会社の平成29年の経営統合に向けて、関係者との打合せを実施します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	四日市港の特例港湾運営会社と名古屋港の特例港湾運営会社の平成29年の経営統合に向けて、関係者との打合せを実施しました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	4,410	27,972	0	10,794	港湾運営会社制度への対応に関する委託業務が平成26年度で終了したため、事業費が減少しています。
人件費	千円	17,520	10,571	21,406	16,499	
合計	千円	21,930	38,543	21,406	27,293	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
伊勢湾における港湾 運営会社の業務開始 に向けた検討会議の 回数(全8回) (進行管理型)	目標	-	1	3	8(累計)	伊勢湾における港湾運営会社の業務開始に向けた検討会議の回数として、四日市港関係者との実務者会議の回数を設定		
	実績	-	1	3				
	事業進捗状況(27年度)			順調 やや遅れ・遅れ				
指標名		25年度	26年度	27年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
名古屋港における港 湾運営会社制度の 活用のあり方検討 (単年度管理型)	目標	-	-	-	-	コンテナターミナル運営民営化協議会(～平成26年度)		
	実績	6	4					
	事業進捗状況(27年度)			-				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	伊勢湾における港湾運営会社の経営統合に向けて、順調に進捗しています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 港湾法改正に対応し、利用者の利便性向上を目指す事務事業として、港湾管理者である本組合が関与し、進めていく必要があります。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 名古屋港のコンテナターミナルの管理運営を効率化することは、上位施策である「国際・国内海上輸送機能の強化」につながると考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 事務の実施は、最小限の人員体制で行っております。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性			判断理由
	継続	成果	コスト	
		拡大	維持	
課題	名古屋港埠頭(株)と四日市港の特例港湾運営会社(四日市港埠頭(株))との平成29年の経営統合に向けて、関係者と十分な検討を一層進めていく必要があるため。 【重点化】			
28年度以降の取組				
四日市港の特例港湾運営会社と名古屋港の特例港湾運営会社の平成29年の経営統合に向け、検討を進めていく必要があります。		京浜港、阪神港など他港の状況等を把握しながら、関係者との十分な調整を行っていきます。		